なごや生きもの一斉調査2018 アリ編

クロヤマアリ

8月31日～9月2日の3日間、市内32ヵ所の公園や緑地などで、アリの一斉調査を行いました。私たちにとって非常に身近な生きものである「アリ」。名古屋市内には、いったいどんな種類のアリがどれだけ生息しているのでしょうか。そして、その場所はどんな状態なのか、を探ってみました。

身近な環境でアリを探そう!

日本では約300種類のアリが記録されています。生息している環境は種類ごとで異なり、アリの種数が多い場所は、多様な自然環境であると言えます。今回の調査では、いったいどれだけのアリが見つかったのでしょうか。

調査地点では、まず初めに粉チーズやポテトチップス、甘いシロップを染み込ませた綿棒などを用意し、餌でおびき寄せる『ベイトトラップ』を仕掛けました。その後、いよいよ手分けしての調査を開始。アリを見つけるには、草花の周りや舗装の隙間、木の表面、石・落ち葉の下などを探します。見つけたら、筆や指を使って透明のチャック袋へ追い込みます。動きのすばやいアリに苦戦することもありました。

すばやいアリは捕まえるのも大変!

こうして探している間に、ベイトトラップに次々とアリが集合。小さなアリも大きなアリも、一生懸命、餌を運んでいました。

設置してから数分経つと…

餌を求めてたくさんのアリが!

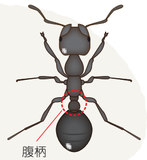
意外と知らない「アリ」のこと

その後、捕まえたアリをルーペや顕微鏡を使って観察。マニュアルと見比べながら、種名と捕まえた場所を記録していきました。よく見られるとされていた、動きのすばやい大型の『クロヤマアリ』や、木の幹で見つかる『ハリブトシリアゲアリ』はもちろん、他にも『ヒメアリ』や『ウロコアリ』、『ウメマツアリ』など、今回の調査では43種類のアリが見つかりました。なかには、目を凝らして見ないと分からないほど小さなアリや、幼虫を運んでいるアリにも遭遇し、参加者たちは歓声をあげていました。

調査をしていく中で、アリがたくさんいると予想した場所では少なかったり、意外なところでたくさん見つかったりすることもありました。知っているようで意外と知らないアリの世界。それを身近な環境で垣間見ることができた調査でした。

アリの特徴

頭部・胸部・腹部の3つに分かれている他の昆虫と違い、アリには胸部と腹部の間に「腹柄(ふくへい)」という節があります。この腹柄は、1節か2節の2パターンに分かれています。



花水緑の会

花水緑の会は緑区の「特色ある区づくり推進事業」の一つである「花・水・緑の公園通り推進事業」として開催された「花のボランティア養成講座」の修了生を中心に2002年（平成14年）に設立されました。座学だけでは面白くないと緑土木事務所から借り受けた新海池公園北の公園予定地を活動拠点とし、自分たちでタネから花苗を作り、公園・街路樹の植えマスに花植えをする活動が始まりでした。

花と緑のまちづくりを合言葉に集まった会員は現在19部会334人（平成30年10月）で、連携をとりながらも自主性を重んじ、特色のある活動を各地で展開しています。

大高緑地で活動をしている大高竹の会は公園緑地の荒れ果てた竹藪に手を入れ、モウソウチク林を管理し、不用となった竹材で竹炭を作っています。また、活動場所を「猪根(いのね)の森」と名付け、自ら調査し、森づくりの指針を作って保全活動を続けています。昨年からはなごや生物多様性センターやなごや生物多様性保全活動協議会の支援を受けササユリの保全・回復に取り組んでいます。光環境の改善（計画的伐採）によって、この3年開花がみられなかったササユリの開花がみられ、とてもうれしく思いました。

後期高齢者も多い会ですが、亀の甲より年の功で皆、自らの持てる経験と技術・体力を使って生き生きと楽しみながら、汗を流しています。

デーキャンプ場竹炭窯

竹のティピーと竹ぼっくり作り

開花したササユリ

親子竹林管理体験（タケノコ堀り）

猪根の森　植生調査

掲示板

平成31年度

なごや生物多様性保全活動協議会助成金 助成団体募集

なごや生物多様性保全活動協議会では、自然環境保全の後継者育成を目的とする活動や新たに取り組まれる保全活動を支援することで、次世代の担い手づくりや自然環境保全活動の創出を応援しています。

平成31年1月8日から2月13日まで、平成31年度の助成団体を募集します。助成金交付要綱など、詳しくは協議会のウェブサイトをご覧ください。

協議会ウェブサイト　http://www.bdnagoya.jp

問い合わせ・申し込み先

発行：名古屋市環境局なごや生物多様性センター

住所 〒468-0066 名古屋市天白区元八事五丁目230番地
（地下鉄塩釜口駅2番または3番出口から徒歩5分）

電話 052-831-8104（平日 8:45～17:30）　FAX 052-839-1695

E-mail bdnagoya@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

名古屋市公式ウェブサイト
http://www.city.nagoya.jp/
なごや生物多様性センター 検索

なごや生物多様性保全活動協議会
http://www.bdnagoya.jp
こちらからアクセスできます

生きものシンフォニーのバックナンバーは、名古屋市公式ウェブサイトでご覧いただけます。

このニュースレターは古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

なごや生物多様性センター

生きものシンフォニー

いのちかがやくなごや

平成30年12月 26号

特集 第5回 なごや生物多様性センターまつり

感じよう！いのちのつながり

第5回なごや生物多様性センターまつりが10月27日（土）に開催されました。曇天模様ながら、吹奏楽の美しい音色が会場に響き渡るなかで、いよいよ開幕。いろいろな展示ブースやワークショップ、ゲームなどさまざまな体験を通して、子どもも大人も生きものの「いのちのつながり」を楽しく学びました。

また、中・高校生らが日頃の成果を発表する「生物多様性ユースひろば」では、生徒たちの一生懸命な姿にたくさんの歓声が上がっていました。

来て!

見て!

感じる!

同時開催 生物多様性ユースひろば

CONTENTS

特集 第5回 なごや生物多様性センターまつり …… P1～4
同時開催 生物多様性ユースひろば
TOPICS なごや生きもの一斉調査2018 ～アリ編～ …… P5
活動紹介 花水緑の会 …… P6
掲示板 平成31年度 なごや生物多様性保全活動協議会助成金 助成団体募集 …… P6

第5回 なごや生物多様性センターまつり

感じよう！いのちのつながり

多彩な生きもの同士が、支え合い、つながり合って生きているこの世界。その「いのちのつながり」を、通して学ぶ、充実の1日となりました。

生きものふれあいひろば

いろんな生きものにtouch!

吹奏楽ライブ

平針中学校　吹奏楽部

曇り空も晴れ渡るような音色に、会場はうっとり。中学生たちに盛大な拍手が送られていました。

お絵かき収集車

どんな生きものを描いたのかな？

出張 マーガレットマルシェ
天白区障害者自立支援連絡協議会

なごや生きものトーク！

出演：アウトドアタレント 鉄崎幹人（てつざき みきひと）さん

市内にはどんな動植物がいるのか、クイズを交えながら会場は大盛り上がり。トーク終盤になると、外来種は食べて減らそう!との呼びかけも。

生物多様性を守るため
MY行動宣言しよう!
環境省中部地方環境事務所

「もったいない」を「ありがとう」にご家庭にある消費しない食品をお持ちください!
2R推進実行委員会 食品ロス削減推進部会／名古屋市環境局資源化推進室

愛岐の森の里山づくり
名古屋市愛岐処分場

外来種ブラックバスの試食コーナー
なごや生物多様性保全活動協議会

みんなでやろまい！なごやの森づくり
なごやの森づくりパートナーシップ連絡会

絶滅危惧種マメナシの花の送粉者、実生・幼木など次世代育成に向けて活動紹介
愛知守山自然の会

チリメンモンスターをさがせ！
「あいちの海」グリーンマップ

名古屋港の生き物たち
名古屋港水族館

身近な生物多様性を知ろう・守ろう!
（株）地域環境計画 名古屋支社

霊長類ってどんな動物?
～日本モンキーセンターの取り組み～
公益財団法人日本モンキーセンター

もっと知りたい外来種
なごや外来種を考える会

蜘蛛の糸の不思議
中部蜘蛛懇談会

猪高の竹で竹クラフト
名東自然倶楽部

湿地に生息する動植物
白玉星草と八丁トンボを守る島田湿地の会

やもん（通称）ってな～に
名城大学野生動物生態研究会

私たちの暮らしと生物多様性
～食べ物の“旬”あてクイズ～
名古屋市環境局環境企画課

竹クラフト&タケのいろいろ
なごや東山の森づくりの会

生きものいっぱい～藤前干潟～
稲永ビジターセンター／藤前活動センター（運営団体 NPO法人藤前干潟を守る会）

藤前干潟ふれあい事業のご紹介
藤前干潟ふれあい事業実行委員会（名古屋市環境局環境企画課内）

エコバルなごやワークショップ
名古屋市環境学習センター（エコバルなごや）

レジ袋の削減で生きものを守ろう！
2R推進実行委員会

釣って分けよう！分別ゲーム！
名古屋市環境局作業課

COOL CHOICEで
低炭素都市なごや♪
名古屋市環境局低炭素都市推進課

空気のきれいさが分かるアサガオ
～アサガオ染めの紙でしおりを作ってみよう～
名古屋市環境局大気環境対策課

名古屋の河川・ため池に棲む
生き物と水質
名古屋市環境局地域環境対策課

藤前干潟で暮らす
ミクロな生き物を観察しよう
愛知工業大学 水環境学研究室

名古屋昆虫同好会展
名古屋昆虫同好会

「半端ない」生き物の展示と観察
名古屋市環境科学調査センター

外堀ヒメボタルのキラメキ
名古屋城外堀ヒメボタルを受け継ぐ者たち

なごやの甲虫とソウムシの多様性
名古屋市立大学システム自然科学研究科附属生物多様性研究センター

ふれてみよう なごやの農業
名古屋市緑政土木局都市農業課

《運営協力》
運営ボランティア
名城大学ボランティア協議会

動物取扱業の表示：株式会社青空
愛知県新城市一鄭田畑中44番地1
展示／動東第407号
H27.2.9～H32.2.8
取扱責任者 竹内勝貴

なごや生物多様性センター

なごや生物多様性保全活動協議会

同時開催 生物多様性 ユースひろば

ケーブルテレビの取材では、緊張しながらも自分たちの活動をしっかり伝えました！

中学・高校の生物部などの生徒たちが、日頃の成果を紹介する「ユースひろば」。各校のブースでは、生徒たちが熱心に説明したり、生きものを通して来場者と楽しく過ごしたりしました。またステージ発表では、司会の鉄崎さんの質問に、的確に答える頼もしい姿が随所に見られました。

佐屋高等学校 生物生産科／科学部

オニバスの生育・生態調査及びハス田の復元研究

地域と連携したハスの再生や、除草剤のいらない「チェーン除草」で無農薬の米づくりにも挑戦。栽培したレタスやお米を販売しました。

名古屋南高等学校 生物・化学部

クモ卵における
胚発生過程の研究

研究は難しい内容ながら、身近に感じてもらうためにクモクイズを出題。親子連れはもちろん、多くの来場者が感心しながら楽しみました。

東邦高等学校 科学研究部

透明標本製作をはじめとする
2018年度上半期科学研究部活動報告

透明標本がズラリのブース。製作過程や、その途中で見つかった課題を今後さらに追究するなど、パワーアップした透明標本が目標とのこと。

向陽高等学校 科学部／国際科学科

科学部・国際科学科の
研究発表

ウミホタルの生態や、なぜ発光するのかを研究。今後は、産卵の様子の撮影にも挑戦予定。ステージでの英語のスライドも印象的でした。

名古屋経済大学 高蔵高等学校・中学校 理科部

山崎川を中心とした
ボランティアと生物調査活動

毎月行う山崎川の生物調査では、範囲を広げての活動を実施。さらに今年は、小麦「ゆめちから」栽培の研究成果をPascoで発表とのこと！

東海中学校・高等学校 生物部

希少淡水魚とそれを蝕む
外来種

ブースのボードには、文化祭で展示したという魚の説明カードがびっしり！それぞれの特徴や食味の結果など、細かい情報が書かれていました。

木曽川高等学校 総合実務部

地域の宝「イタセンパラ」を守ろう!
～二枚貝はどうして減少したのか?～

昨年の缶バッジ制作に加え、手作りしたイタセンパラかるたも紹介！多くの人に楽しく知ってもらうための工夫が素晴らしいです。

名古屋大谷高等学校 化学部

活動記録

学校で飼育している生きものの紹介や、樹脂標本などを発表。現在、減少しているニホンイシガメなどを在来種を守るため、繁殖にも挑戦中！

緑高等学校 理科部

メダカの体色について・
緑高校の植物図鑑

メダカすくいやダンゴムシの交替性転向反応の実演をしたり、植物図鑑にはマメ知識を載せたりと、子どもから大人まで楽しめる内容でした。

明和高等学校 SSH部生物班

明和高校の植生

透き通るほどキレイな葉脈標本に驚き！樹木のQRコード作成や、日照時間と植生分布の関係など、楽しい内容から難しい内容まで充実テーマが勢ぞろいでした。

南山高等学校 男子部 理科部生物班

エキゾチック・ペット

迫力のある標本に子どもたちは釘づけ！エキゾチック・ペットや、セアカゴケグモなど、幅広く面白い観点の内容を発表しました。

名城大学附属高等学校 自然科学部

庄内川の環境を中心に
行った活動

水質状況から流域内人口、生物の個体数など、多彩な視点から、細かく生態系を調査。二枚貝調査では食味の実施も！

中・高生によるステージ発表

司会進行：鉄崎幹人さん

湿地提携に基づく
オーストラリア・シロング市
派遣中学生

どんな環境活動が行われているのかを、名古屋市とも比較しながら発表。次は自分たちが行動しよう！という思いが伝わってきました。

展示内容はもちろん、普段の活動についてなど、ブースだけでは分からない研究成果も発表しました。

ユース広場参加校による
日頃の活動発表